

鶴翔高校 文化祭「飛翔祭」開催

今年のテーマは、未来へ駆ける僕ら ～ Make you happy ～ と題して11月13日（金）・14日（土）の2日間、飛翔祭が開催されました。

準備期間は7日間で、短縮授業で1日1時間を確保。各クラス、各団体が創意工夫を凝らし、みんなで協力して完成させました。1年生は展示を、2年生はステージを、3年生は進路決定者のみでバザーを分担しました。農業科学科、食品技術科の農産物販売会も多くのの方々にぎわっていました。また、新型コロナウイルス感染症予防対策として、ステージ発表の観覧は、保護者のみとして、受け付けにて検温と手指の消毒を、そして全員マスク着用と一定時間での換気を徹底しての実施となりました。コロナ禍の中、例年ならできることも制限のある状況でしたが、鶴翔高校では、できるだけ生徒たちの活躍の場を守りたいとの思いから、できるかぎりの工夫を行い生徒・職員一致団結して、生徒会を中心に協議を重ね、創り上げることができました。



「令和2年度優良PTA文部科学大臣表彰」を受賞 高校生の作文コンクールで「国土交通大臣賞」を受賞

11月10日（火）、本校が「令和2年度優良PTA文部科学大臣表彰」の被表彰団体に決定したとの通知がありました。「親子で考える進路選択」の促進や、学習支援の充実など、これまでのPTA活動が全国でも認められた証だと思います。コロナ禍で、本年度は思うようなPTA活動ができていませんが、今後ともPTA活動の活性化に努めていきます。

また、国土交通省および建設産業人材確保・育成推進協議会主催による「高校生の作文コンクール」において、総合学科環境緑地系列2年の岩月野々さん（入来中出身）の作品「描く未来」が、最優秀賞にあたる国土交通大臣賞を受賞し、11月25日（水）、東京で表彰式がありました。岩月さんは「都会の雰囲気には圧倒されましたが、表彰式後の懇談など貴重な体験ができて、新型コロナウイルス感染症の大変な状況の中で表彰式を開催してくださり感謝しています。そして、受賞ができたのは、日々の授業で色々な経験をさせてくださった先生や多くの方々のおかげなので感謝の気持ちでいっぱいです」と語ってくれました。今後の活躍を期待しています。



農業アクション大賞「奨励賞」を受賞

11月9日（月）、第1回全国高校生農業アクション大賞最終選考会がリモートで開催されました。

最終選考に選ばれた7校が、それぞれ、3年間の活動成果をプレゼンし、大賞1校、準大賞2校が選ばれました。本校は残念ながら大賞・準大賞は逃しましたが、奨励賞とトロフィーをいただきました。食品技術科3年の洲崎晴華さん（野田中出身）は「3年間、鹿肉しょうゆの研究に携わってきても大変でしたが、多くの人々に鹿肉しょうゆの研究成果を伝えることができ良かったです。最優秀賞は獲得できませんでしたが、これからも研究を続けていきたいです」と語ってくれました。



挑戦・感動

そして 愛

Since 2005



鶴翔高校

公式ホームページ

